

文部科学省は国の科学技術のうち特に重要と思われる研究領域に対して科学研究費補助金「特定領域研究」を設定しています。我々は平成16-18年度に全国の86研究者グループで『極微構造反応』という領域の形成を目指して「特定領域研究」を行ってきました。そこで生まれた研究成果を広く一般の方々に公開することを目的にシンポジウムを開催いたします。

また、これらの研究成果をもとに「最先端科学とは何か？」を次世代の研究者とともに考えるパネルディスカッション、参加者全員で最先端科学と実生活とのつながりについて気軽に語り合う「場」としてのサイエンスカフェを企画しました。

## プログラム

※研究課題の研究紹介ポスターは期間中終日掲示

### 5月26日（土）

#### 10:00～12:00 「極微構造反応」研究成果講演

「レーザーで細胞を調べよう」	増原 宏	濱野生命科学研究財団・主席研究員／大阪大学名誉教授
「濡れた表面を調べる」	福村 裕史	東北大学大学院理学研究科・教授
「触媒の姿・動き・働き」	岩澤 康裕	東京大学大学院理学系研究科・教授
「結晶も光で形を変える」	入江 正浩	立教大学理学部・教授／九州大学名誉教授

#### 13:10～14:30 パネルディスカッション PART1

「フロンティア ～そこにあるのはサイエンス～」 “最先端研究に化学・物理・生物の区別はない！”

○コーディネーター:

猿田 茂 氏	大阪府立池田北高等学校・校長
石田 昭人	京都府立大学人間環境科学部・准教授

○パネリスト:

大木 徹 氏	大阪府立天王寺高等学校・教諭
山本 仁 氏	大阪大学安全衛生管理部(大学院理学研究科(兼))・教授
増原 宏	濱野生命科学研究財団・主席研究員
長瀬 仁美 氏	大阪大学理学部化学科2年生
現役高校生	大阪府立天王寺高等学校、大阪府立北野高等学校、京都教育大学附属高等学校のみなさん

#### 14:50～16:30 「極微構造反応」研究成果講演

「細胞の中に入ってみよう」	青山 安宏	京都大学大学院工学研究科・教授
「ワインの涙でデバイスを作ろう」	カートハウスオラフ	千歳科学技術大学物質光科学科・教授
「レーザーで分子のコントロール」	和田 昭英	神戸大学分子フォトサイエンス研究センター・教授
「分子の時間を経験してみよう」	宮坂 博	大阪大学大学院基礎工学研究科・教授
「スプリング8で動く原子を見よう」	田中 義人	理化学研究所播磨研究所・前任研究員

#### 16:30～17:10 ポスター発表 説明タイム

### 5月27日（日）

#### 10:00～11:00 「極微構造反応」若手研究者講演

「葉緑体の内部をレーザーで探る」	熊崎 茂一	京都大学大学院理学研究科・准教授
「水玉をあやつる科学」	山田 亮	大阪大学大学院基礎工学研究科・准教授
「触媒による環境に優しいものづくり」	山口 和也	東京大学大学院工学系研究科・講師

#### 11:20～12:30 パネルディスカッション PART2

「フロンティア ～そこにいるのは研究者～」 “最先端な人ってどんな人？”

○コーディネーター:

越野 省三 氏	奈良県立奈良高等学校・教諭
岩井 薫	奈良女子大学理学部・教授

○パネリスト:

西川 恵子	千葉大学大学院融合科学研究科・教授
近藤 寛	東京大学大学院理学系研究科・准教授
古池 美彦 氏	大阪市立大学理学部化学科3年生
現役高校生	滋賀県立守山高等学校、奈良県立奈良高等学校のみなさん

#### 13:40～15:40 サイエンスカフェ 「最新の電池と自動車触媒について」

(話題提供者)

魚崎 浩平	北海道大学大学院理学研究科・教授
薩摩 篤	名古屋大学大学院工学研究科・教授